

No.90 警察官の指導による、護身術等の防犯教室・訓練

- 管 内 渡島管内
- 分 類 防犯教室 安全マップ 不審者対応訓練 その他()
- 教育課程 教科()科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校 種 小学校(低) 小学校(中) 小学校(高) 中学校 高等学校
- 取組のポイント

地元の松前警察署職員により、次の講義を実施した

- ・最近の犯罪の傾向
- ・犯罪から身を守るために気を付けなければならないこと
- ・不審者に出会った際、身を守るための行動(護身術)

■取組の実際

ねらい

日常生活における犯罪被害の現状、原因及び防止方法について理解を深め、現在及び将来に直面する防犯上の課題に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意思決定や行動選択ができるようにする。

内 容

1 学校規模

学 科	性別	1 年 生	2 年 生	3 年 生	計
普通科	男子	17	11	24	52
	女子	13	12	21	46
	計	30	23	45	98

2 学校を取り巻く環境

松前町は北海道最南端にある温暖な地で、豊かで美しい自然が広がっている北海道唯一の城下町である。特に桜の名所であり、開花期には、20万人以上の観光客で賑わう。

松前町を縦貫する国道228号は、主要国道であり、海岸線の漁業関係施設を結ぶ道路は屈曲して危険である。

こうした環境の中、本校では交通安全教室とともに、見知らぬ不審者と遭遇する危険があることから、防犯教室を実施している。

3 防犯教室の実施

6月27日(火) 6時間目、校地外での犯罪被害防止を目的に、北海道警察函館方面本部から警察官を指導する指導官を派遣していただき実施した。

函館方面の不審者による犯罪被害の状況についての説明を受けた後、生徒が2人1組で不審者に後ろから服や腕をつかまれた際を想定した護身術を訓練した。

4 生徒の感想

夜、1人で歩かないようとする。もし歩かなければならぬ時には、イヤホンなどをせず、周囲を見渡すように心がけ、安全を確保して、防犯意識を持つように心がけようと思った。

成果と課題

- 普段、触れることのない護身術の訓練に集中して取り組むことができた。
- 防犯の観点から1人で夜間行動しないようとするなど、生徒の防犯意識を高めることができた。
- いざという時にとっさの行動ができるような当事者意識を持続させることが課題である。



【防犯に関する講義の様子】



【説明に聞き入る生徒】



【2人1組で護身術の訓練】